



枕崎・指宿鰹節

国GIへ同時登録

契機に

農林水産省は18日、地域「枕崎鰹節」をそれぞれ登録したと発表した。鹿児島県内では鹿兒島黒牛や桜島小みかんなどに続き8、9品目。

日本一の生産量を誇る枕崎鰹節は300年以上の歴史があり、独自の認証規格を定めるなど高い品質の確保に取り組んできた。指宿鰹節は、上品な香りと深いコクのある最高級品「本枯」

本節」の生産量が全国の7割以上を占めている。

農水省で同日あった登録証授与式で、枕崎水産加工業協同組合の的場信也代表理事組合長は「だし文化は世界でも注目されている。登録は海外発信や産地が活気づくきっかけになる」とあいさつ。山川水産加工業協同組合の浜村昭仁専務理事は「生産者としてうれしく、身の引き締まる思い。国内三大産地の一つとしてさらなるブランド力向上に尽力したい」と述べた。

群馬県の「高山きゅうり」や北海道の「十勝若牛」など5品も登録され、GI登録は計167品(うち海外産6品)となった。登録されると専用マークを付け販売でき、ブランドを守りやすくなる。

地理的表示保護制度に登録された枕崎鰹節と指宿鰹節の関係者18日、東京・霞が関の農林水産省

2025年3月19日付9面

* 習っていない漢字のよみがなや難しい用字用語の解説

枕崎(まくら・ざき) 誇(ほこる) 本枯本節(ほん・かれ・ほん・ぶし) 占(しめ) 授与(じゅ・よ) 身の引き締(し)まる思い=大きな責任(せき・にん)や重要(じゅう・よう)な場面に直面して、意識(い・しき)を高める心境(しん・きょう) 尽力(じん・りよく) 販売(はん・ばい)



